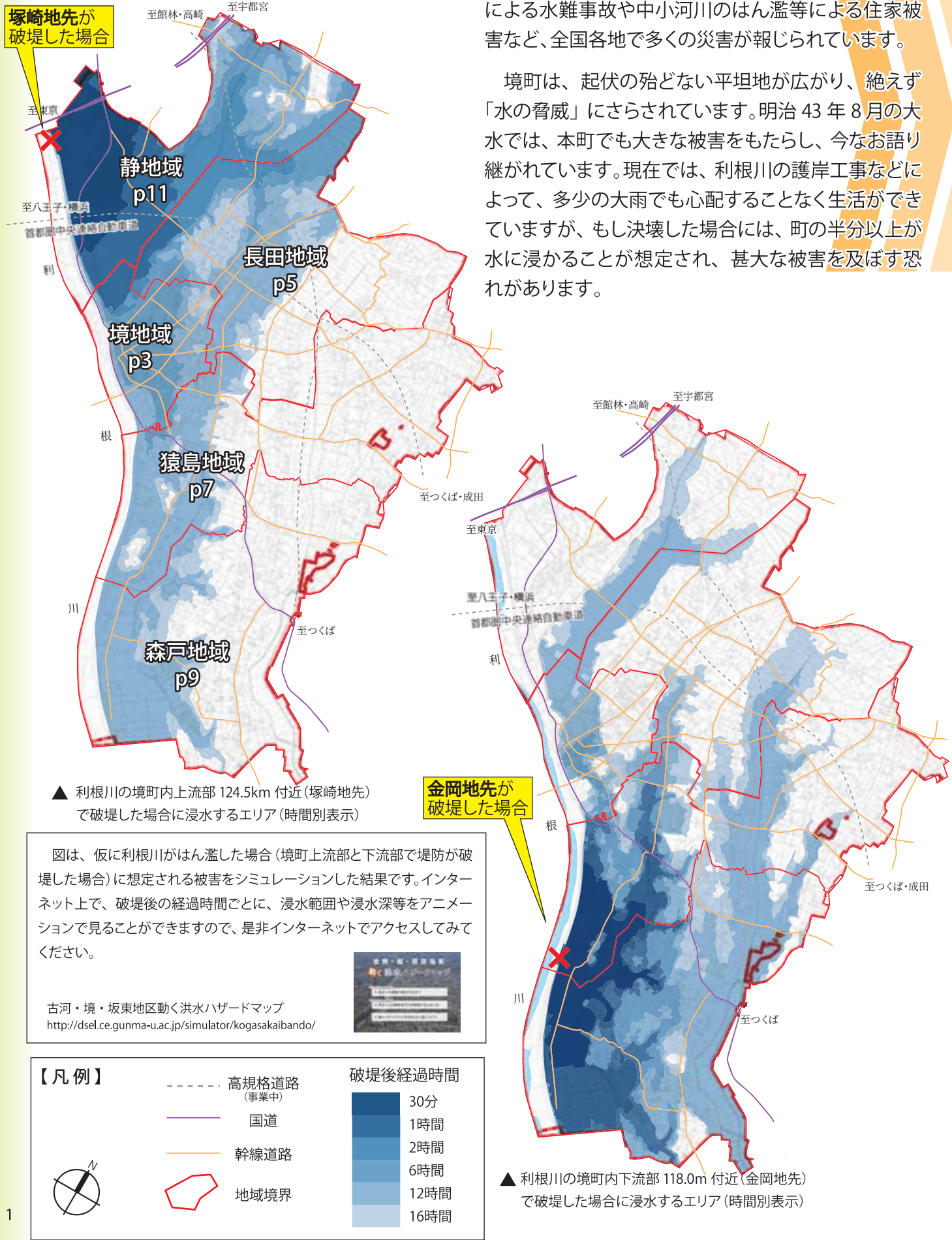


境町の洪水リスク(危険性)

近年、局地的な大雨の頻発によって、急な河川増水による水難事故や中小河川のはん濫等による住家被害など、全国各地で多くの災害が報じられています。

境町は、起伏の殆どない平坦地が広がり、絶えず「水の脅威」にさらされています。明治 43 年 8 月の大水では、本町でも大きな被害をもたらし、今なお語り継がれています。現在では、利根川の護岸工事などによって、多少の大雨でも心配することなく生活ができていますが、もし決壊した場合には、町の半分以上が水に浸かることが想定され、甚大な被害を及ぼす恐れがあります。



とにかく 早めの避難 が大事です！

左図のシミュレーションが示す通り、低地の多い境町では、またたく間に浸水域が広がっていきます。決壊からの避難では間に合わないこともあり、早め早めに対応することが大切です。結果的に浸水などがなく、避難が“空振り”に終わったとしても、命を守るためには「早めの避難」を心がけることが大事です。

早いタイミングでの避難が重要です。日頃から準備をしておきましょう！

利根川が決壊すれば被害は甚大！

12,000 人超の人が被災する想定結果も公表されています。

塚崎地先で破堤した場合、浸水区域内の住民が誰も避難しなかったと仮定すると、12,000 人を超える人が浸水する状況におかれ、3,000 人を超える人が命の危険にさらされる状況になると想定されています。

分類	状態	破堤場所別被災状況	
浸水域内滞在者	避難せずに自宅に留まっている人で、自身は浸水しないが、自宅が浸水域内にある人	塚崎地先 8,845 人	金岡地先 6,648 人
浸水域内危険者	未避難または避難途上で、緊急の救助が必要ではないが、自身が浸水する状態の人	262 人	241 人
要緊急救助者	未避難または避難途上で、歩行が困難な浸水状況に置かれ、緊急の救助が必要な人	3,059 人	677 人

(注)群馬大学による住民アンケートからの集計による(平成 23 年実施)

災害対策は気象情報・河川情報の収集から

気象情報は、最も身近な防災に関する情報です。注意報や警報が発表されたら、テレビやラジオから情報を収集するとともに、インターネットを活用した情報収集に心がけましょう。

